

# 常任委員会 予算審査報告

平成27年度一般会計及び特別会計予算は各常任委員会に付託され、3月9日、11日、12日、13日、16日の5日間、町執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。慎重審査の結果、いずれの予算も原案どおり可決されました。

## 総務常任委員会

### ◆ 対象の課・局

総務課・企画課・税務課・会計課・議会事務局

### ◆ 書類審査 3月13日

企画課

**問** マイナンバー制度の概要と今後のスケジュールは

**答** 平成27年10月から、町に住民票を有する人すべてに1人1つのマイナンバーが通知されます。この番号は社会保障、税、災害対策の分野で利用されることとなります。

このため、町民の皆様には、年金・雇用保険・医療保険の手続、生活保護・児童手当その他福祉の給付、確定申告などの税の手続などで、申請書等にマイナンバーの記載を求められることとなります。マイナンバーの通知後に町に申請すると、身分証明書やさまざまなサービスに利用できる個人番号カードが交付されます。制度の本格稼働は平成28年1月からで、個人番号カードを持つ人が、全国のコンビニエンスストアで住民票や印鑑証明書で交付を受けることができるサービスは、平成28年1月20日の開始を予定しています。



▲ 審査の様子

### ◆ 現地調査 3月16日

消防団詰所（1-2、2-4、3-2）、町民会館サーバー室、役場庁舎空調



▲ 消防団詰所 ▲

### ◆ 審査報告

本町は、まちづくり基本条例に基づき、平成27年度において、総合的かつ計画的な町政運営を図るため、第6次振興計画を策定するとしている。新たな次期振興計画の策定に当たっては、第5次計画の数値目標の達成状況を明らかにし、取り組みの効率性及び有効性等についても適正に評価した上で、事務事業の継続あるいは改善を図られたい。

また、多様化する地方自治の新たな課題や、今後の計画すべき課題などについて、町民、議会、行政がそれぞれの役割を自覚しながら、相互連携の下、持続的に発展するまちづくりを理念とした、中長期的視点に立った計画を策定されるよう要望する。

# 教育民生常任委員会

## ◆ 対象の課

住民課・健康福祉課・環境対策課・こども育成課  
生涯学習課

## ◆ 書類審査 3月9日、11日

高齢者支援課

**問** 元気な高齢者に記念品を贈るとのことだが、人数と認定方法は？

**答** 80歳以上の1,490人のうち、880人から900人位です。認定方法は、現時点では基準日以前の1年間、要支援・要介護認定を受けていない方で、介護に頼らず自立した生活を送っている人です。



▲ 審査の様子

健康福祉課

**問** 子宮がん検診に力を入れるとのことだが？

**答** 子宮がん検診と乳がん検診は、これまで隔年でしか受診できませんでしたが、平成27年度からは毎年受けられるようになりました。ただし、子宮がん検診は、検査結果により次回の検診が3年後・1年後・要精密検査に振り分けられます。対象者には個別案内はがきを送り、受診勧奨に力を入れます。

## ◆ 現地調査 3月16日

海洋センター、芳賀中、最終処分場建設地、祖母井保育園



▲ 最終処分場建設地



▲ 海洋センター

## ◆ 審査報告

税収が伸び悩む中、長期にわたり財源確保が必要な少子化対策や子育て支援事業が多数盛り込まれた。各事業に対し分析・検証を行い、町独自の施策として継続されるよう努められたい。

社会保障費が増加傾向にあるので、引き続き検診や予防事業の充実を図り、歳出の抑制に努められたい。

# 産業建設常任委員会

## ◆ 対象の課

農政課・建設課・商工観光課・都市計画課

## ◆ 書類審査 3月12日

都市計画課

**問** 定住促進事業の内容と対象は？

**答** 市街化区域、50戸連たん区域、開発区域、分家住宅に限り、一戸建て住宅を新築、購入した人に50万円を補助します。また、市街化区域内の公営住宅を除くアパート等の賃貸物件に転入した人に月1万円（上限36カ月）を補助します。いずれの場合も、補助対象は、若年夫婦（夫婦どちらかが40歳未満）または、40歳未満で扶養家族がいる人です。



▲ 審査の様子

## ◆ 現地調査 3月16日

新食肉センター建設予定地、寺前西ノ台線、祖母井神社前、三日市宮田線、新工業団地予定地上山下・岡田線、工業団地管理センター（LRT関係）



▲ 新食肉センター建設予定地説明



▲ 上山下・岡田線の現道拡幅工事説明

## ◆ 審査報告

都市計画においては、町長の示す新たな人口ビジョンに対応したまちづくりや、都市計画マスタープランの見直しが必須である。LRTを地域間連携軸の核にすえた交通体系骨格の見直し、定住促進・利便性向上による人口増に対応する市街化区域の拡張と街区の整備が急務である。

さらに、祖母井中部地区の土地区画整理事業においては商店街の振興を念頭に、シャッター街をなくし、商業系土地利用と地域文化を取り入れた賑わいの創出を図りたい。

平成27年度は、いよいよLRTが端緒に就く。芳賀工業団地までの完成を目途に工業団地の拡張、補助アクセス道路等の整備を進め、LRTを芳賀町の振興にどう活用していくのか、農工商、各課垣根を越えたスピーディかつフレキシブルな対応を望む。